

第3回 ORTHOREBIRTH 学術研究会 実施

ORTHOREBIRTHは1月28日、東京・日本橋で学術研究会を行いました。弊社は2014年12月に横浜、2015年11月に沖縄・名護市で学術研究会を開催しており、今年が3回目の実施になります。

数日前のビジネスミーティングに姿を見せたジェフリー・スチュアート医師に加え、同じく整形外科医である田中孝昭氏、名古屋工業大学からは副学長の春日敏宏教授、小幡亜希子教授が参加しました。

二人の医師は臨床結果の報告が中心で、スチュアート医師がReBOSSISを使用した手術の実践的な模様を語り、田中医師は臨床データをもとに β -TCPを含む人工骨の優位性を改めて述べています。春日教授と小幡教授は材料工学の面から人工骨及び綿状物の開発に関するプレゼンテーションを行い、弊社沖縄研究所の牧田所長が現在進めているいくつかのプロジェクトを説明しました。

今回の学術研究会は先のビジネスミーティング同様、ORTHOREBIRTHグループのメンバーとパートナーが一堂に会する場となりました。私どもORTHOREBIRTHはビジネスと研究開発に関する二つのミーティングを通してフェイス・トゥ・フェイスで意見交換することの重要性を再認識しただけでなく、再生医療分野での貢献度を高め、患者さんに寄り添う活動をさらに推し進めて参ります。



ジェフリー・スチュアート医師



田中孝昭 医師



春日敏宏教授



小幡亜希子教授

